

豊橋市

発行・豊橋市自治連合会
平成30年9月発行

自治連合会だより

第12号

事務局
豊橋市市民協働推進課内
TEL 0532-51-2482
<http://www.toyohashijichiren.jp/>

日頃から自治会活動にご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

各地域では、防災・防犯・環境美化の活動をはじめとした様々な地域活動に取り組んでいただいているところですが、このような自治会が行う地域活動を市が支援する「自治連合会コミュニティ活動交付金」制度が本年度から始まりました。各自治会におきましては、地域の誰もが参加できる開かれた自治会運営により、地域コミュニティをより一層活性化していただけるようご協力をお願いしたいと思います。

一方、自治会加入率の低下傾向が続いています。少子高齢化や核家族化が進行する中、持続的に地域コミュニティ活動を担っていくために



会計 山本安男
副会長 徳島結城
副会長 川本恭久
会長 植村幸司
副会長 五箇野進
副会長 小林一男
会計 原 正明

は、加入率の向上は避けては通れない重要な課題となっております。自治連合会としても、これまで以上に地域住民の親睦を深め、「自分のまちは自分たちでつくる」を合言葉に、全員参加のまちづくりを目指し、運営に努めて参ります。

今後とも市民の皆様には自治会活動へのご支援、ご協力をお願いいたします。

（執行部役員一同）



豊橋市長
佐原光一

自治連合会の皆様には、平素より、市政の推進にあたり、多大なるご理解とご協力を賜りますとともに、多岐にわたる活動に日々ご尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。心から敬意を表します。

本市では、地域コミュニティの活性化を推進するとともに、市と各自治会との連携、協働を層深めるため、自治会の皆様が取り組まれている活動を支援する新たな交付金制度を今年度からスタートさせました。これを機に、コミュニティ活動に対する市民の意識が高まり、住民相互の交流・連携がさらに深まることを期待しています。

今後とも、「ともに生き、ともに考え、ともにつくる」をキーワードに市民の皆様と一体となり、住みよいまちづくりを進めてまいりますので、各自治会におかれましては、地域の課題解決に向けた提案や活動の充実を図るなど、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、自治連合会がさらなる飛躍をとげられますことを心よりご祈念申し上げます。

平成30年度

定期大会開催
提言「30定期大会」を採択

平成30年6月20日、豊橋市公会堂にて、本年度の定期大会が、多数の来賓のご臨席のもと、盛大に開催されました。

植村自治連合会長は「計画的で透明性があり、誰もが参加できる開かれた自治会運営により、活気があり、魅力あふれる自治会活動を行い、地域コミュニティの活性化・充実に取り組みましょう」とあいさつしました。

第1部の式典では、永年にわたり校区自治会長（11名）、町自治会長（77名）として活躍された方々に表彰状が、また、平成29年度で退任された校区自治会長（11名）、町自治会長（85名）には感謝状が贈呈されました。

続く第2部では、平成29年度の事業報告と決算、平成30年度の事業計画と予算が報告されるとともに、『自分のまちは自分たちでつくる』を指すことが盛り込まれた提言『30定期大会』が採択されました。

- 提言「30定期大会」**
- 一、安全・安心・緑の多い豊かな住み良いまちづくりの推進
 - 一、透明性のある開かれたコミュニティ活動の推進
 - 一、地域コミュニティの充実



視察 田原市、豊橋市バイオマス 利活用センターを訪問して

ごみ問題解消のための研修として、5月23日に田原市と豊橋市バイオマス利活用センターを視察しました。

田原市では、今年の2月から「家庭系ごみ有料化制度」がスタートしました。①ごみの減量化とリサイクルの推進、②ごみ量に応じた費用負担の公平性の確保、③ごみ処理経費の削減と将来世代への負担の軽減を目的とし、「もやせるごみ」と「こわすごみ」が有料化の対象とのことでした。「地区ごとの説明会」や「廃棄物減量等推進員」が効果的だったとの説明はたいへん参考となりました。

稼働が始まった豊橋市バイオマス利活用センターでは、①発電により約1890世帯分の電力を生み出す、②温室効果ガス削減量は年間約1万4000トンになる、③20年間で約120億円の処理費用削減が見込まれるとの説明に目を見張りました。



バイオマス利活用センターにて



田原市役所での視察研修

市長との懇談会開催

自治連合会と市長との懇談会が7月6日に開催されました。この懇談会は、各校区が抱えている課題を自治連合会としてまとめ、市側と直接意見を交換する場であり、佐原市長と関係部長らが出席されました。

本年度は「今後の地域の公共施設・「老朽化した施設への対応と複合化」「施設の使用料」「児童クラブの運営と放課後児童の居場所」について市側に質問し、活発な意見交換が行われました。

老朽化施設への対応については、「人口減少の動向や時代の変化に対応しながら、当面は既存施設の補強・リニューアルによる長寿命化で対処したい」「施設の利用料は5年をめどに見直していく」など、関係部長の発言のあと、佐原市長が「小学校は地域コミュニティの要であり、地域の事情や危機管理面を配慮する中で、人口動態を見ながら在り方について検討していく」と意欲を示され、熱のこもった有意義な意見交換の場となりました。



市長との意見交換

平成30年度

豊橋市自治連合会 事業計画

I. 重点推進事項

- 1 明日の豊かなまちづくり
市民館を拠点に地域のコミュニティ活動の実施など
- 2 安全で明るい市民生活を築く
まちづくり
交通安全市民運動の推進、防犯活動の推進など
- 3 青少年が健康で明るく育つ
まちづくり
青少年健全育成会を中心にパトロールの実施、非行防止活動と明るい家庭づくりの実践など
- 4 地震等災害から市民を守る
まちづくり
危機管理体制の強化、自主防災会の充実と防災意識の高揚など
- 5 美しく住みよい緑のまちづくり
530運動および愛市憲章の実践と啓発など
- 6 快適な暮らしを目指すまちづくり
資源、エネルギーを大切にすることの自主的な活動の推進、地域における支え合い活動の推進など

II. 一般推進事項

- 1 市政への協力
安全・安心、豊かで住みよいまちづくりのため、「広報とよはし」配布など市の業務に協力

III. 特別推進事項

- 2 豊橋まつりへの参加
各校区自治会よりクイーンを選出し、イベントなどへ参加
- 3 共同募金、歳末たすけあい運動などへの協力
- 4 地域で献血運動への協力
- 1 自治会活動の充実と活性化の促進
市民協働によるまちづくりの推進
- 2 市民協働によるまちづくりの推進

ポルトガル語版・タガログ語版 加入促進チラシが完成しました



外国語版の自治会加入促進チラシを配布しています。ブラジル・フィリピン国籍市民の加入呼びかけにご利用ください。

● 問合せ先 豊橋市自治連合会事務局
● 電話 0532-5112482

編集後記

今年度は豊橋市自治連合会だよりを年2回（10月と3月）発行することとなりました。市民の皆様に向けた迅速な情報提供、記事の充実に取り組んでまいります。

【編集委員】

川本恭久、山本安男、
長谷川哲男、宮下孫太郎、
鈴木佳和